

令和07年09月01日

社会資本総合整備計画 事後評価書														
計画の名称	宝塚市における住環境の改善および都市機能の向上計画（第2期）													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和06年度（4年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	宝塚市													
計画の目標	宝塚市においては、阪神・淡路大震災により多くの住宅が全壊・半壊等の被害を受けた。 中でも仁川地域においては、震災前は阪急電鉄仁川駅を中心とした利便性の優れた都市型住宅地として発展していたが、震災後の早期復興にあたり、道路等の都市基盤の不足という課題が顕著となった。 当地域の課題改善に向け、「宝塚市震災復興地区（仁川）住宅市街地総合整備事業」の整備計画に基づき、社会資本整備を推進することで、防災の観点から災害に強いまちづくりを目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,210	A	3,210	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	—	R6末
1	仁川地区において避難所等までの緊急車両の到達時間を約20%短縮することにより、住民へよりよい防災、救急等の公共サービスを提供する。 仁川地区における避難所等の4箇所に対し、緊急車両の到達時間を調査し、平均短縮時間を算定する。 宝塚消防・南部出張所から以下4地点への到達時間÷4＝緊急車両平均到達時間①鹿塩会館（予備避難所）、②仁川小学校（指定避難所）、③宝塚第一中学校（指定避難所）、④仁川高丸地区（急傾斜地）			
		414秒	秒	330秒

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
令和11年度時点では3.5分を目標とし、R3年度比で到達時間を約50%短縮する。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	宝塚市	直接	宝塚市	－	－	住宅市街地総合整備事業 （宝塚市震災復興地区（ 仁川））	A=64.1ha	宝塚市	■	■	■	■		3,210	1.25	－	
											小計						3,210			
											合計						3,210			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課にて評価を実施	令和7年度
	公表の方法
	市のホームページに記載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業期間の延伸を行い、道路供用に至らなかったため、緊急車両の到達時間を短縮することはできなかったが、用地買収契約の進捗率（面積ベース）が約90%を超え、多くの地権者のご協力を頂けており、また、工事も着手することができている状況である。引き続き3期計画にて事業を進め、道路を供用し、事業の効果を発現させる見込みである。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
早期に道路が供用できるよう、引き続き地権者や関係機関と協議を進めるとともに、工事も順次実施していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	330秒	用地買収において、地権者との契約が遅延し道路が供用できなかったため
	最 終 実績値	414秒	